【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【公開番号】特開2007-212663(P2007-212663A)
【公開日】平成19年8月23日(2007.8.23)
【年通号数】公開・登録公報2007-032
【出願番号】特願2006-31206(P2006-31206)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　5/20　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1335　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　5/20　１０１
Ｇ０２Ｆ　1/1335　５１５
Ｇ０２Ｆ　1/1335　５２０

【手続補正書】
【提出日】平成21年1月30日(2009.1.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
カラーフィルタ基板と対向基板の間に液晶層を備え、前記カラーフィルタ基板の電極と前記対向基板の対向電極で構成するドットを用いて表示を行なうカラー液晶表示装置の製造方法であって、
前記カラーフィルタ基板を製造する工程が、透明基板上に所定の厚さを有する台座層を形成する工程と、前記台座層上に金属反射膜を形成する工程と、前記金属反射膜上に透明層を設けて前記金属反射膜の前記透明基板の反対側に位置する表面を保護する工程と、前記透明層、前記金属反射膜及び前記台座層を共通のパターンによりパターニングすることにより、前記台座層と前記金属反射膜と前記透明層が積層された反射部と、前記台座層と前記金属反射膜と前記透明層が除去された透過部を、前記透明基板上に形成する工程と、前記透過部と前記反射部に亘ってカラーフィルタを設ける工程と、を含むことを特徴とするカラー液晶表示装置の製造方法。
【請求項２】
前記カラーフィルタのうち前記反射部に位置する部分を研磨する工程をさらに含む請求項１に記載のカラー液晶表示装置の製造方法。
【請求項３】
カラーフィルタと電極が形成された透明基板と、対向電極が形成された対向基板と、前記電極と前記対向電極間に設けられた液晶層を備え、前記電極と前記対向電極で構成するドットを用いて表示を行なうカラー液晶表示装置において、
前記ドットには光を透過する透過部と金属反射膜を有する反射部が設けられ、
前記透過部と前記反射部とに亘ってカラーフィルタが設けられ、
前記反射部は、前記金属反射膜と前記透明基板との間に所定の厚さで形成された台座層と、前記金属反射膜の表面上に形成された透明層とにより、前記金属反射膜を挟む層構造となるように形成され、
前記透過部に設けられたカラーフィルタは、前記反射部に設けられたカラーフィルタに比べ、前記台座層と前記金属反射膜と前記透明層の総和分だけ厚く形成されることを特徴

とするカラー液晶表示装置。
【請求項４】
前記透明層が感光性透明樹脂である請求項３に記載のカラー液晶表示装置。
【請求項５】
前記金属反射膜は、アルミニウム、アルミニウム合金、銀及び銀合金からなる群から選択される材料よりなる請求項３または４に記載のカラー液晶表示装置。
【請求項６】
透明基板と、
前記透明基板上に形成され光を透過する透過部と、
前記透明基板上に前記透過部と隣接して形成され、金属反射膜を有する反射部と、
前記透過部と前記反射部とに亘って設けられるカラーフィルタとを備え、
前記反射部は、前記金属反射膜と前記透明基板との間に所定の厚さで形成された台座層と、前記金属反射膜の表面上に形成された透明層とにより、前記金属反射膜を挟む層構造となるように形成され、
前記透過部に設けられたカラーフィルタは、前記反射部に設けられたカラーフィルタに比べ、前記台座層と前記金属反射膜と前記透明層の総和分だけ厚く形成されることを特徴とするカラーフィルタ基板。